

図書紹介

◎コミュニティ・フォレストリーのための迅速型調査法 (Donald A. Messerschmidt, 1995, Rapid Appraisal for Community Forestry : The RA. Process & Rapid Diagnostic Tools, International Institute for Environment and Development, London. pp.100 約 1,600 円)

この本は、迅速型農村調査法 (RRA : Rapid Rural Appraisal) などを用いて、住民の参加により社会林業における調査を行う方法論について述べたものである。FAO などからも類書が出ているが、それらが特定の手法についての紹介を行っているのに比べ、この本の著者は多くの手法を調査し、実際に試してみているようである。その意味でどのような手法があるかなどが概観できるし、参考になる。

しかし気になる点もある。この本の筆者は RRA も、主体的参加型農村調査法 (PRA : Participatory Rural Appraisal) も、また ICRAF の診断とデザイン手法 (D & D : Diagnosis and Design) もすべて一括して「迅速型調査法」と呼んでいる。ところが一般的にはこれらの手法は目的に応じて区別されており、例えば RRA は一般的には調査手法であると考えられているが、PRA はむしろ参加を促進するためのアプローチで、調査に限って使われるものではない。

この筆者は、どうやら現場で普及を行ったりする、実際の現場を担当していた人ではなく、それを専門分野からサポートする社会学者などの研究者のようである。したがって筆者がこだわっているのは、あくまで調査をして、最終的にレポートを仕上げることであって、住民参加がどのように実現されるか、ではない。それは「どういった調べ方をするかは地域住民の都合が最優先」としながらも、「注文主の援助団体が何を知りたいかによる」としている点によく現れていよう。

無論調査という仕事もあるわけであるから、この筆者の主張もあながち間違いとは言えないであろう。しかしこうした迅速型の手法を用いる目的が、一般的には調査だけではなく、社会林業での事業を実施していく全過程においてであるという認識を、筆者は持っていないようであるし、それでは参加型の社会林業の実施での応用は困難である。読者もこの点にだけ注意して、あくまで調査に限って述べた本であると考えて読んでいただければ、資料的な価値は高いし、社会林業での調査手法の本としてはよくまとまっている。(野田直人)